

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次提案書

注1) 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。

注2) 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は計画図(位置図・平面図・完成予想図各A3判1ページ、その他必要に応じて配置図・断面図・立面図等)、想定整備費用内訳書(第3号様式)、協議・説明状況報告書(第4-1~3号様式)、1次コンテント以降の活動内容(任意様式A4判1ページ)、その他資料(必要に応じてA3判2ページまで)

提案グループ名 (25字以内)	町を故郷に・鳥山ノスタルジアプロジェクト
整備場所（町名 又は丁目まで記入）	港北区 鳥山町
提案名 (25字以内)	鳥山ノスタルジア計画・町への愛着生む居場所を作る
助成金申請予定額	500万円
整備する施設 (具体的な整備内容 <sup>*1</sup> を工夫した点 <sup>*2</sup> にも触れて記入してください) ※1施設の全体像とともに整備助成金の対象箇所を明記してください ※2住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮	<p><b>[1]1F:カフェ</b>：①キッチン&amp;カウンター:ボックス席と一体感が生まれるようカウンターの高さは抑える②キッチン横に開放窓を作る。店内へ入るきっかけにコーヒーカウンター席を設ける。③ボックス席シート下は収納にする④簡単な調理ができるようコンロ設置⑤外観は城のある町をイメージ:「城町カフェ」</p> <p><b>[2]1F:地域インフォメーションコーナー</b>：①店前は1階外壁のセットバックを行い地域情報の掲示板とチラシラックを作成。②ベビーカー置き場としても活用③入口扉は透明ドア。カフェの情報はドアに直接書込む</p> <p><b>[3]階段</b>：だれもが安全に2階を活用できるよう傾斜を緩やかにして新設。手すりも付ける。</p> <p><b>[4]1Fトイレ</b>：洋式トイレへ変更、および独立手洗いを新設。</p> <p><b>[5]2F相談室</b>：2.5帖ほどの個室。レンタルルームの音が入り込まないように防音仕様とする。団体事務所としても稼働。棚などをDIYする</p> <p><b>[6]2F和室</b>：ニーズ調査から「足を伸ばして寛げる」空間の人气が高く、畳の表替えを行い和室のまま利用する。講座や会議での利用を想定し、ホワイトボードウォール(DIY)と天井付けスクリーンを設置する。</p> <p><b>[7]2Fホール</b>：カフェの音が上がらないよう仕切り扉をつけ靴を脱ぎ収納するスペースを確保。お湯の利用を想定しミニキッチンを設置</p>
施設の活用・活動内容 (具体的な活動内容を工夫した点にも触れて記入してください) ※第1次提案書より具体的に記入してください	<p>① <b>サロン</b>：高齢者介護予防事業「とりやまの郷」や多世代向け地域サロンを2F和室で実施。収納可能な机にし必要な時に組み立てて使う。読み聞かせやベビーマッサージなど親子で過ごす時間のほか、子どもは専門のスタッフと2Fで過ごし、ママは1Fカフェで学びの時間を過ごすなど、一棟全体を活用したサロン運営も行う。</p> <p>② <b>カフェ</b>：調理は最小限、スタッフ1名で運用可能なキッチン。傾聴などの専門的な研修を受けたカフェスタッフが促したおしゃべりから地域情報の提供や相談へつながる。開放窓から外を歩く人に挨拶すると、彼らはセットバックした空間に一歩入り小さなおしゃべりが始まる。店内へ入る決心が着かないお客様にはコーヒースタンドでおしゃべりを。ここは時間をかけ私たちが知り店内へ誘う空間である。</p> <p>③ <b>生活・福祉の相談支援ステーション</b>：カフェのおしゃべりから相談へ発展したら2F相談室へ。専門機関への連携だけでなく、福祉・医療・心理・ITなど専門職スタッフによる相談サービスも実施</p> <p>④ <b>レンタルスペース</b>：2Fは学びや趣味活動の場として地域へ貸出す。貸室利用がない時はカフェスペースとして開放。畳空間ではママや小さい子どもが足を伸ばしてカ</p>

	<p>フェ時間を楽しむ。仕事や勉強で利用できる席も設置する</p> <p>⑤ <b>地域インフォメーション提供事業</b>：店舗入口にチラシラックや掲示板を、カフェ内にはインフォメーションデスクを設置し、ボランティア情報なども含めた地域情報を住民が得られるケアプラザの出張所のような場を作る。また単なる情報提供に留まらず、地域の人・場所が連携するきっかけや機会を創出し地域資源のネットワーク化を行う。</p> <p>⑥ <b>地域連携HUB</b>：鳥山町や城郷地区のさまざまな施設を利用してマルシェや音楽ライブなどを行う。また既存の地縁団体などと一緒に地域の課題などを解決するための会議を定期的を開催する。その他シェアカフェも。 (その他資料①②参照)</p>
<p>提案の背景 (なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください) ※第1次提案書から変更した点がある場合はその理由も記入してください</p>	<p>鳥山町にはアクセスの良い場所に集える場がなく、地域の人は、長い坂の上にある公民館か隣町にあるケアプラザを利用している。本プロジェクトで中心的に活動する濱なかまは、鳥山町の高齢者施設などを活用してシニアサロンを開始した。しかしコロナ禍で施設へ入館できなくなり、公民館で活動を継続してきたが昨今は坂を上るのが難しくなる利用者が増えていた。“平坦な場所に集える場がない”ことは地域共通の課題であり、自治会やケアプラザ、地区社協が関わる形で地域の有志が集まり、協議体「鳥山町居場所づくりプロジェクト」が2017年発足した。この会合の中で、集い場どころか“お茶をする場所(カフェ)”もない鳥山町に「ちょっとお茶をしながら集まれる場所ができるといいね」という思いを共有したことが本提案の原点にある。また、鳥山町にはチラシなどを配架する場所がなく、住人は隣町のケアプラザまで足を伸ばさなければ、新鮮で細やかな地域情報が得られない実態もあった。住人に地域をもっと知ってもらいよりよい関係を築くには、鳥山町に「常設の居場所」が必要であることも協議体で共有している。自治会や福祉・事業者・地域団体が、共通課題を解決できる「拠点」を共に作る経験を通して新しい関係性が生まれることにも、大きな期待を寄せている。</p>
<p>整備プロセス (スケジュール、つくるときに連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)、費用縮減の工夫に触れて説明してください)</p>	<p>① スケジュール:2次審査通過確定後、物件オーナーによる工事を約2カ月実施。R5/5月～7月完了予定。(賃貸契約は提案の工事スタート時期としていただく)</p> <p>② 工事は地域の事業者により工事費の低減などに協力いただける</p> <p>③ 設計と施工は、まち普請事業経験のある設計士と事業者の協力を得てノウハウや経験を生かし効果的・効率的な施工が期待できる。</p> <p>④ DIY作業等は公式LINEなどを通じてつながったサポーターの協力が得られる</p> <p>⑤ 工事費が不足した場合、すでに連携しているクラウドファンディング経験済の地域団体からノウハウを教授いただける。</p> <p>⑥ 自治会・地区社協の協力(動員・周知)や地域事業者の紹介が得られる。</p> <p>⑦ 拠点運用で連携していく団体や組織と、連携時に必要な整備部分について整備資金協力が得られる(ベランダ、相談室、掲示板など)</p>
<p>維持管理・運営計画及びその実施方法 (維持管理・運営するとき連携する仲間の役割や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)</p>	<p>○施設運営は濱なかまが中心的に担い、常勤を1名配置し拠点全体の統括を行う。拠点は最低1日5時間・週5日オープンする。</p> <p>① <b>カフェ運営</b>:カフェ業務や傾聴に関心があるボランティアを募り運営する。コーヒーボランティア団体や傾聴活動団体の協力連携が得られる。また金曜日はカフェ経営に関心がある地域の方が週替わりシェアカフェとして運営する</p> <p>② <b>サロン運営</b>:濱なかまと関連団体が毎週月・水に定期サロンを開催(現行)。毎週火曜は地域の子育て支援者/団体が週替わりでサロンを開催する。</p> <p>③ <b>食・職講座</b>:利用者メリットがある有償のサポーター制度の施行や、コーヒーの淹れ方、IT活用、傾聴など、今回提案する施設での活動に結び付く講座(食・職講座)を開催</p> <p>③ <b>ステップUPボランティア</b>:食・職講座の参加後にスキルアップの場として、ボランティアによる実践の機会を提供。シニアや育児中の母親のキャリアの継続の場にする。</p> <p>④ <b>週末ボランティア</b>:近隣施設のイベントに合わせ営業する日(土曜・日曜)だけ関わるボランティア制度を創設し働きながら地域貢献できる場を提供する。</p> <p>○R5年度中にNPO法人化を行う事で他の活動助成金を申請するだけでなく、運営にかかる経費を賄える事業(レンタルスペース・飲食提供など)を行い人件費などを徐々に支払える活動をめざす。</p> <p>○横浜市介護予防・生活支援補助事業(サービスB)の活動費とその他助成金および協力団体の施設利用料で設定家賃を支払う。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例・地域のPTAから協力を受けられそう。・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例・整備に必要な材料を安く入手できそう。・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。・バザーなどで資金を集められそう。

<p>1次コンテスト以降の活動内容 ※詳細については添付資料（任意様式）に記入してください</p>	<p><b>①町への周知と認知活動</b>：拠点づくりの目的やめざす町の姿について、町の人に知らせ関心をもってもらおう活動。「知っている人」を増やす活動。  <b>②声を集める活動</b>：拠点ができた以降の町に関心をもち、拠点づくりに関わってもらおうための活動。「関心をもつ人」を増やす活動  <b>③物件選定活動</b>：空き家探し  <b>④運営体制の構築活動</b>：拠点構築後の運営を据えた体制づくり連携の関係づくり  <b>⑤財務活動</b>：拠点構築後の財務を見据えた仕組みづくり</p>
<p>関係者の合意・調整状況 （地域《地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等》での合意形成や関係機関との調整結果の概要について説明してください）</p>	<p><b>地権者</b>：プロジェクト発足前より説明を行い合意の上でプロジェクトに参画。その他工事・設計・運営・賃貸契約等について説明機会をもち合意を得た。  <b>鳥山町自治会</b>：城郷地区居場所づくり検討会にて説明を行った。リーフレットの配架活動や自治会掲示板への掲示の協力を得ている。（鳥山町自治会以外の検討会メンバー：岸根町町内会、小机町町内会、城郷地区社協、民生児童委員、城郷小机地域ケアプラザ、港北区福祉保健課、港北区社協）  <b>近隣住民</b>：テナント物件のため近隣住民には回覧板を通じてお知らせを行ったまた周辺店舗には個別に拠点の説明と工事時期の説明にうかがった。その他地域店舗にも1件ずつ説明行脚を行ったり、プレスト会議を実施しさまざまな個人と意見交換を行う機会を設けた。</p>
<p>その他提案について特にPRしたい点を記入してください</p>	<p>複数あった「平坦」で「アクセスがよい」候補の中で、あえて小さなこの物件を選んだのは、鳥山町のランドマークとなるポテンシャルがあったからだ。鳥山町が目抜き通りに位置し、駅や郵便局・買い物へ出る時は自然と目に触れるこの拠点の情報発信の仕掛けによって、住人は無意識に地域情報を受け取り、地域に接点が無かった住人にも情報を届けることができる。また山を隔てて分断されている鳥山町の地形を考えたとき、すべてを賄う大きな拠点を1つ作るのではなく、様々な場所に小さな拠点が点在しそれらがつながることが大切だと気付いた。地域資源をよく知るメンバーが集う私たちは、この提案前からすでに地域の資源と連携しハードやソフトを実現してきている。</p>
<p>目指す地域の将来像 （施設が整備されることにより地域がどのように良くなるのか、地域に及ぼすインパクトについて説明してください）</p>	<p>ともに町の資源を作ることで、その場所は地域で共通の「愛着の場」となる。この「愛着の場（町カフェ）」は、自治会など地縁組織ではない濱なかまが主体となることで、これまで交流機会がなかった層が交じり合う場となり、人によっては地域と接する出発点にもなる。ここで出会う”人”や”豊富な地域情報”によって、住人は単独では得られなかった城郷・鳥山町の魅力を発見し、その人にとって町が故郷となっていく。</p> <p>一方で、今回整備する拠点は小さく詰め込める機能やサイズに限りがある。しかし私たちが目指すのは多くを賄う拠点が1つある地域ではなく、小さな拠点がつながりチカラを発揮する町である。そのために私たちはまず、音楽活動とマルシェを実施する小さな拠点を鳥山町や城郷地区の様々な場所に発掘・連携し、住人が交流する機会や場を創生していく。こうしてつながった人材や施設などと、定期的にプレスト会議などの意見交換を行って、ひとつの拠点では完結できない問題を町全体で解決する力を育てていく。町カフェはそのハブとして機能する。</p> <p>また住人は、出産・育児・復職・退職・介護度や病気の進行などでライフステージが変化し、それまで通っていた場所に通えなくなっても、町カフェがHUBとなり地域とその人とつなぎ続ける。</p> <p>濱なかまは地域ホスピスをめざす団体である。地域のなかで豊かな日常を送り最期まで自分らしく生活をするために、愛する人を愛する地域で見送るために必要な機能（傾聴、生活の場、医療、音楽、ボランティア、介護、相談）をこの町カフェから地域へ循環させていく。</p>

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

# 整備物件<位置図>

(縮尺：1/5000)

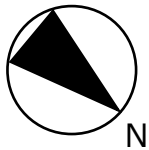


(縮尺：1/1000)



 **整備物件**  
(港区鳥山町 1013)

ローソン港北鳥山町店



勉強や仕事ができる席  
こちらも普段は収納  
(電源が使える)

コンセント必要



Wi-fiも!

遮光性  
ロールスクリーン

畳敷き和室

テーブル・椅子は普段収納

すきな天板

形状① = ちゃぶ台仕様  
形状② = テーブル仕様

天井付けのスクリーン

エアコン

靴箱  
2Fは靴を脱いで

ホワイトボードウォール  
(地域の人とDIR)

1Fの音が上がってこないように  
扉をつける



靴脱ぎ場

ミニキッチン

2期工事でバルコニーを施工するまでは  
閉じたまま

相談室  
(外の音が入りづらく壁施工)

ケアプラザまで行くのは  
けっこう疲れる!

壁ペイントまたは壁紙貼り  
(地域の人とDIR)

棚  
(地域の人とDIY)

2F

平面図



セットバック  
(一歩中に進む仕掛け&  
ベビーカー置き場にも)

コーヒーカウンター  
(カウンター席としても、  
外出中のおやすみ処としても)



地域の掲示板

駅からくると  
目に入る

カウンター  
(客席は目線が同じになる  
ように高さを調整)

ベンチシート  
: 中は収納  
(地域でDIR)



収納

手すり

傾斜をゆるやかに  
階段新設

手すり

トイレ  
(壁は地域でDIY)

手洗い



かき氷は一年中  
食べられていいもの!

1F

平面図

解放窓:  
雨戸のようにしまえる  
(外の通りを見通して  
新しい会話のきっかけを生む)

テイクアウトもやります!

ガラス壁で  
雨風へあから!

チラシラック  
地域情報チラシ配架



キッチンカウンター  
(ワンオペ可能な  
機能的な仕様)

フィットケミカル  
スープを  
名物に!

〈完成予想図〉

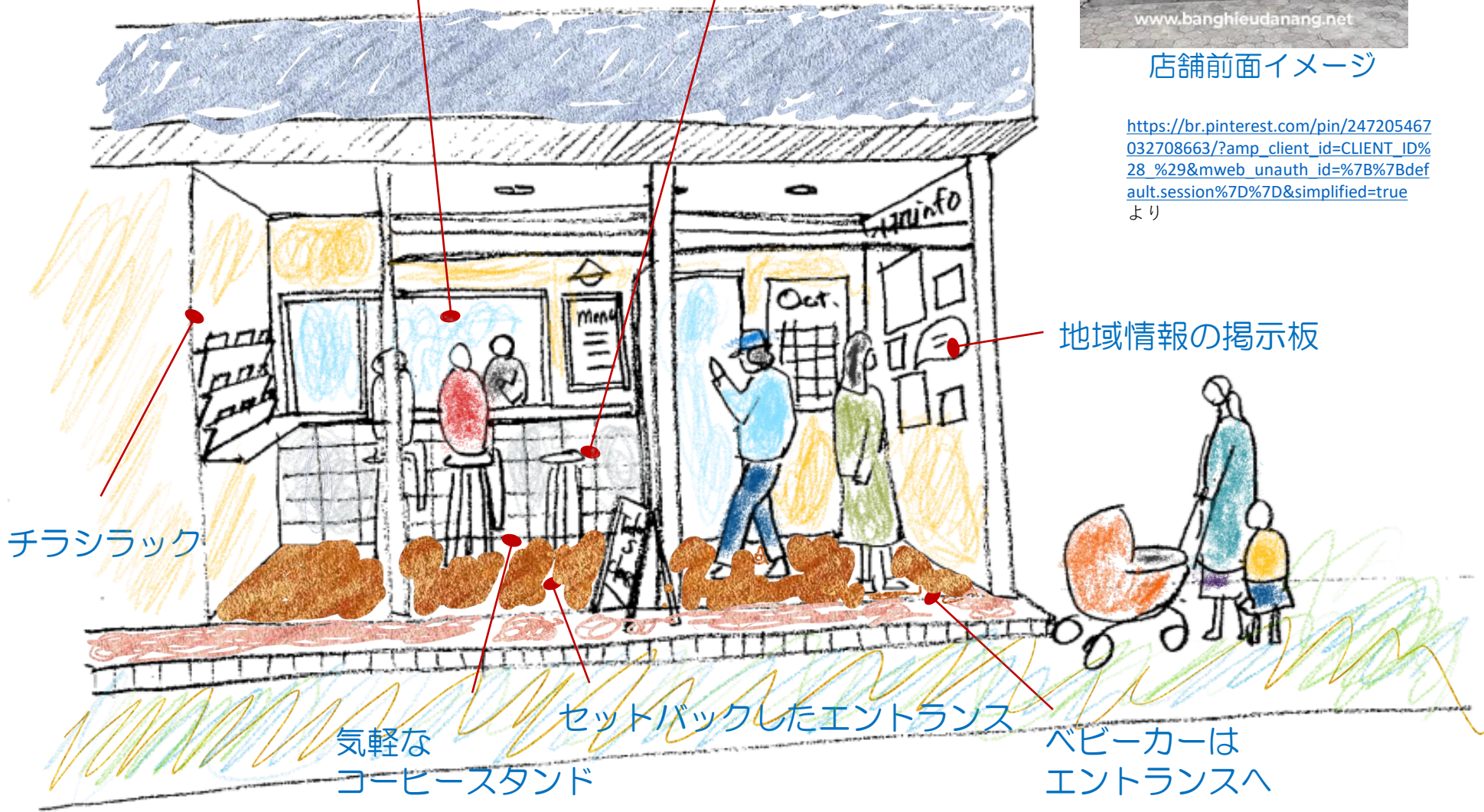


店舗前面イメージ

[https://br.pinterest.com/pin/247205467032708663/?amp\\_client\\_id=CLIENT\\_ID%28%29&mweb\\_unauth\\_id=%7B%7Bdefault.session%7D%7D&simplified=true](https://br.pinterest.com/pin/247205467032708663/?amp_client_id=CLIENT_ID%28%29&mweb_unauth_id=%7B%7Bdefault.session%7D%7D&simplified=true)  
より

「城」がある町のカフェをイメージ

開放窓から  
店内とおしゃべり



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
木工事	解体、階段・壁新設	一式		1,500,000	解体片付けを地域で掃除
内装仕上工事	壁、床、天井	一式		800,000	塗装を地域で施工など
厨房設備工事	厨房機器	一式		700,000	
	設備取付工事	一式		200,000	
電気設備	配線、照明器具設置	一式		500,000	
外装工事	エントランス、情報スペース等	一式		550,000	塗装を地域で施工
エアコン設備	1F、2F和室	2台	150,000	300,000	
固定家具類	棚・造作ベンチ・カウンター(内・外)	一式		200,000	造作・塗装などを地域で施工
トイレ設備工事	トイレ・手洗い	一式		150,000	
設計費		一式		180,000	
工事監理費		一式		150,000	
計				5,230,000	
消費税				523,000	
合計				5,753,000	

# 【一次コンテスト以降の活動内容】

内容	効果・結果
<b>周知活動</b>	
<b>[号外発行]</b> 城郷連合町内会回覧板で回覧(7月)	連合町内会とのつながりができ、鳥山町を超えて城郷地域との連携の可能性が向上した。
<b>[リーフレット発行]</b> リーフレットを作成。(8月) <b>[地域行脚]</b> ささまざまな拠点にリーフレット配架をいただけないかとお願いに廻った。 個人・団体の活動の場へ趣き、拠点づくり活動の説明や意見交換を行った。(8月～) 行脚先はメンバーからの推薦のほか、公式LINEから情報提供も受けた <b>号外</b>	年代問わずプロジェクトの説明が伝わりやすくなった。 1900箇所以上での配架が実現した。(11月末時点) 拠点の目的やまち普請について丁寧に説明した結果、リーフレットを配架するだけでなく、プレストミーティング会議に参加するなど、協力者としてプロジェクトに参加してくださる人や団体が増えた。 <b>リーフ</b> <b>ここから追加</b> <b>公式LINE</b> <b>就労継続B型事業所と協働</b> <b>作成した自慢のリーフレット</b>
<b>[専用公式LINE運用開始]</b> 《情報周知》、《アンケート取得》、《参加申請》機能を作り、プロジェクトをダイレクトに応援できるスキームを提供した。(8月～)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リアルな接点がない地域の人の声を受取れた</li> <li>新鮮な情報を提供できたので、タイムリーな協力の申し出や情報提供が得られた。</li> </ul>
<b>[Instagram運用開始]</b> 若い世代と交流を図る必要性を実感しInstagramでの情報発信を開始(9月～)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Instagramから、全く接点のないユーザとつながる機会が増えた</li> <li>若い層への情報提供が進んだ</li> </ul>
<b>[活動紹介]</b> 様々な地域組織で活動の説明や意見交換を行った。(ひっとぷらん推進会議・城郷ボランティア連絡会・港北つなぎ塾・城郷居場所づくり検討会・城郷地区社協理事会)(8月～11月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属する団体を通して当プロジェクトを知る人が増えた。</li> <li>「城郷地域として当プロジェクトを応援しよう」という声も上がり始め、鳥山町を超えた組織から応援をいただけるようになった。</li> </ul>
<b>[活動発表]</b> 城郷地区社協理事会にて鳥山ノスタルジアプロジェクトに関する発表を行った(10/22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市議員や城子連会長などこれまで面識はなかったがプロジェクトを知ってくださっている方と対面し、直に熱意を伝えることができた。それらの組織がもつ課題や期待も受け取ることができた</li> </ul>
<b>[地域交流イベント]</b> 地域の他団体や個人が協働してイベントを開催 ・ハロウィン (10/25) ・音楽マルシェ (11/30) <b>理事会での発表の様子</b> 地区センターとケアプラザの共催イベントにパネル展示で参加(11/26.11/27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSや公式LINEのフォロワーが現場に現れてリアルなつながりができた</li> <li>共催団体のメンバーから、<u>協力者へ</u>昇華する人が増えた</li> <li>物件が決まったタイミングで具体的な内容を周知でき関心を持つ人が増えた</li> </ul> <b>&lt;町カフェ&gt;</b> <b>アンケート</b> <b>小学生も参加!</b>
<b>地域での理解を深める</b>	
<b>[地域への説明会]</b> ・プロジェクト進捗報告:鳥山町自治会 役員(7/27)、城郷居場所づくり検討会(9/14) ・物件オーナーに対する説明会:(10/14、11/4) ・ひっとプラン推進会議:(10/21) ・ひっとプラン地域活性化分科会(8/30,9/27.11/15) ・城郷地区ボランティア連絡会(10/14) ・城郷地区連合町内会(7/31,9/30) ・地域行脚	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの定例会などを利用して進捗報告を行った。</li> <li>城郷居場所づくり検討会では、鳥山町の居場所づくりをモデルに城郷地区の居場所づくりを検討する流れができた。</li> <li>プロジェクトが目指すものを町を超えて共有できる人が増えた。</li> <li>〈町カフェ〉の協力者が増えアイデア出し会議などが多様な集まりの中で開催できた</li> </ul> <b>Co-coya</b> <b>にて</b>
<b>[空き家活用勉強会]</b> 中山・co-coyaにて空き家整備の実態や拠点が地域へもたらす影響などについて現地勉強会を行う。(8/10) co-coya関口春江様、地主・斎藤様のご協力で開催	自治会・地区社協・地域の有志、事業者が参加。これから進めたいことのイメージ共有ができた これ以降、整備候補物件が出始めた
<b>ニーズや思いの整理</b>	
<b>[アンケート]</b> 交流イベント、公式LINE、団体行脚などでアンケートや意見交換を行った(8月～12月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな世代のアンケート結果を設計等に反映出来た。</li> </ul>
<b>[ブレインストーミング]</b> 地域行脚で理解を得た個人や団体と拠点活用方法のアイデア出し会議を行った(9/14、11/9、11/23、12月、1月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな地域資源を発見することができた</li> <li>地域課題の解決となる連携アイデアが沸き運用後の協働体制が見える場面も生まれた</li> </ul>





**町カフェは、はじまりの一步。**  
But it's just only the first stage...  
Let's go to the next.  
~小さな居場所（地域資源）が点在し、互いに補完し合いつながる町へ~

**START**



鳥山町自治会  
連合町内会  
城郷地区社協

音楽LIVE会場  
Café Roots

民生児童委員  
保健活動推進員



とりやまアカデミア  
斎藤修一郎ギター教室  
音楽で場づくり

パルシステム神奈川  
食・場づくり支援

日本調剤薬局  
小机薬局  
薬相談・健康イベント

毎月場所を変えながら小さなマルシェを開催

ローソン港北鳥山町店  
自転車シェアリング

小机城がある街を愛する会  
歴史研究・史跡巡り

まち探検家  
新羽町・Sさん  
歴史研究・史跡巡り

わいわい城郷  
コーヒーボランティア

トーススコーヒー  
コーヒー淹れ方講座

岸根町・Dさん  
おうちパン講座

とりやまの郷  
介護予防の駄菓子販売

こどもの居場所  
こどもの居場所づくり

鳥山町のほかの場所でもマルシェを開催してみる  
**新しい出会い**

おはなし  
キラキラぼっけ  
読み聞かせ

町ライブラリー  
@とりどり文庫  
本と出会い

子育て支援ボラのみなさん  
保育・育児相談



鳥山町を飛び出し  
岸根や小机で  
マルシェを開く  
城郷地区まで  
お出かけスポットになる

カフェ周辺で小さなマルシェを開く

カフェ周辺で定期的に小さなマルシェを開く  
出店者が増えてくる

子ども服や絵本の交換  
会からスタート

毎月場所を変えながら小さなマルシェを開催

# 12 December

月曜は、濱なかま関連団体が続けてきた「月曜カフェ」の日。週替わりでさまざまなサロンが開催されます

木曜は地域の様々な団体（事業者）が地域課題を意識した新しいサロンを作り上げます

# 2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	1 城まち会	2 シェアカフェ	3 濱なかま
4 休み	5 濱なかま サロン) 小机ギター茶会	6 きらポケ サロン) よみきかせ	7 濱なかま サロン) とりやまの郷	8 地域混合	9 シェアカフェ	10 濱なかま
11 休み	12 濱なかま サロン) こころのほっとカフェ	13 民生児童 サロン) たまりBA小机	14 濱なかま サロン) とりやまの郷	15 地域混合	16 シェアカフェ	17 濱なかま
18 休み	19 濱なかま サロン) スマホ相談会	20 子育て支援者混合 サロン) たまりBA小机	21 濱なかま サロン) とりやまの郷	22 地域混合	23 シェアカフェ	24 濱なかま
25 濱なかま	26 濱なかま サロン) 健康測定会	27 子育て支援者混合 育児相談	28 濱なかま サロン) とりやまの郷	29 休み	30 休み	31

日祝はお休み。But, 日産スタジアムに大きなイベントがあるときはOPENします！

火曜は子育て支援者・団体が親子サロンを開催。第4週は、複数の子育て支援者が交流しながら地域の課題を意識した新しいサロンを作り上げます。

水曜は濱なかま名物とりやまの郷。サロン参加者が拠点運営に携わる介護予防に挑戦。放課後駄菓子店OPEN！

金曜は城郷地区で居場所を作りたい団体や人、いつか自分のカフェを開きたい人がシェアカフェとして運営します。

土曜はモーニングタイムがあります。町の人々がゆっくりした朝のひとときを過ごしなが、町の中の情報交換を行う時間です。

## その他資料②

収入の部	月	年
	カフェ	300,000
貸しスペース	25,500	306,000
シェアカフェ	12,000	72,000
講座参加費	12,500	150,000
助成金	100,000	1,230,000
会費	3,000	336,000
イベント売り上げ		74,000
収入計	453,000	5,768,000

支出の部	月	年
	家賃	77,000
仕入れ	150,000	1,800,000
水道光熱費	50,000	600,000
通信費	7,000	84,000
事務費	15,000	180,000
消耗品費	20,000	240,000
カフェ人件費	100,000	1,200,000
備品費	26,000	312,000
無利子借り入れ返金		150,000
租税等		100,000
保険		58,000
設備費（更新料など）		120,000
支出計	445,000	5,768,000

## 事業の柱

### カフェ事業

- ・キッチンがワンオペ。スタッフはみな傾聴などの研修を受けカフェでの会話を大切にすることを学び活動スタート。
- ・調理は最低限にしぼり、ローソンやおすとあんでるの持ち込みも可能にする
- ・スープメーカーで味の安定感を実現し手間を削減。
- ・ランチに付属するパンは、地域のパン作り講師が提供。
- ・パン、スープ、コーヒーの調理講座を開き、ボランティア獲得の機会も作る。

### レンタルスペース事業

- ・2F和室をレンタルスペース
- ・設備レンタルも行い、事業者と市民団体は貸し出し条件を分ける
- ・地域課題を意識した講座やワークショップなどに優先貸し出しする

### 福祉生活相談ステーション事業

- ・カフェのおしゃべりから必要な場合は相談につなぐ
- ・専門機関や事業者につなぐことで課題解決をサポートする

### サロン事業

- ・とりやまの郷  
フィットケミカルスープランチ・コーヒーを提供  
ランチは地域のお弁当も選べるようにする  
多世代交流週は参加者が店主となり駄菓子屋を開店し、地域の小学生と交流する
- ・その他のサロン  
月曜カフェ  
スマホ教室  
パルスシステム神奈川協力講座  
発信力UP講座（文章やITによる情報発信技術を学ぶ職講座）

### 見守り事業

- ・週に1度、地域情報やお弁当をお届けしつつ「会話」を大切にしたい見守りを行う。
- ・また地域の見守り実施団体と連携し手薄な箇所を補足する。
- ・ニュースレター「ゆめなかま」を発行し見守り活動に活用
- ・将来的には有償で、異常検知機器のレンタルや駆け付けサービスも実施する

### 地域インフォメーション提供事業

- ・町カフェに設置した掲示板やチラシラックに地域情報を配架する
- ・城郷ローカルメディア（Web）の運営を通して、新鮮な地域情報を提供する

### 地域連携HUB機能

- ・町カフェの中だけにとどまらず、鳥山町や城郷地区のさまざまな施設を利用して交流事業（マルシェ、音楽ライブ）を行う。
- ・地域課題を解決するためのアイデアだし会議（プレスト）を定期的で開催し、既存の地域団体などが協働する機会を創生する
- ・シェアカフェを通して他地区のコミュニティカフェ開設希望者に情報やスキルの提供を行う。